

## 問 小学6年生まで医療費無料を

**答** 応分の負担を求めながら検討している

山根 昇 議員

**問** 子どものいじめ、自殺、高校での未履修問題など教育のあり方が問われている。いじめは子どもたちのストレスが原因である。学校や社会のさまざまな要因がからみあっているが、何よりも詰め込みと学力競争の押し付けがある。その対応・対策はどうか。

**教育長** 児童・生徒へのアンケートを行い調査をしている。これを分析し、傾向に応じた指導に役立たせる。

**福祉部長** 児童虐待は4割が経済的困窮家庭との調査もある。若者の定住促進面からも小学6年まで、無条件で医療費を無料化すべきである。

泉の動向もみな

から検討している。

**問** 六栗総合病院の医師不足は深刻である。国の医師育成施策の誤りや「小泉」医療制度の改悪が主原因であるが、県への要望や奨学金の創設など独自対策が必要である。

**事務部長** 国の施策の影響を受けているのは事実である。種々努力していきたい。

**問** 県道加美六栗線染河内地区で合併前着手の用地買収が見送られている。念願の計画が合併で切り捨てられていないか。

**土木部長** 長期計画で実施すべく県の段階で見直しが行われている。

## 問 六栗林業の再生を

**答** 林業関係者の協力を願う

岡崎 久和 議員

**問** 低コスト経営団地整備事業、県産木材供給センター事業の今後の見通しと取り組みについて伺いたい。

**市長** 県の単独事業として、高密度網の団地を設置し高性能機械を活用し低コストでの、素材生産により、原木の安定供給を実現するものである。山林の維持管理、保全に必要な経費が確保できるもので持続可能な循環型林業を確立することが目的で、六栗市が目指す儲かる林業の確立と災害に強い森づくりと合致するので積極的に推進したい。

県産木材供給センターは平成19年には募集条件等を整理して民間企業が

ら公募するという考え方で県は進めている。県の木材供給センターの目的と市の林業再生の目的方針は同一線上にあり、市で設置を受けたい。

**問** 国民健康保険被保険者証カード化については既に組合健保などは実施されている。国保のカード化を市は導入をされるのか。

**福祉部長** 化は被保険者の利便性が格段に計れるのが大きなメリットである。費用もかかるが更新時の早い時期に実施したい。



## 問 「市立さつき園」自己負担の軽減を

**答** 国・県に要望しています

山下 由美 議員

**問** 障害者自立支援法の施行により、1割の利用料と給食費を負担するようになった。そのため「さつき園」で1ヶ月働いて得たお金の5倍以上も支払わねばならず、意に反して通所をあきらめたり、日数を減らさざるを得ない方が増えている実態をご存知ですか。国の改善策待ちでは遅い。1日も早く他の自治体に見るような市の独自対策を打ち出すべきです。

**市長** 通所者減や休みの増はそれだけが原因ではない。国が検討中の改善策の動向を踏まえて実施したいと考えており、独自の軽減策を取る予定は今のところありません。

国が検討中の改善策の動向を踏まえて実施したいと考えており、独自の軽減策を取る予定は今のところありません。

ころありません。そのため、県と協議し国へも要望を継続していきます。

**問** 介護保険法の改悪で要支援1・2と要介護1の人は、介護ベットや車イスを借りると全額負担となった。市の独自助成を考えるべきではないか。

**市長** 国が認めた特例があり、主治医の意見書やサービス担当者会議を経て実情に沿った対応をしています。

**問** 水道料金の引き下げの検討はどうなっているか。

**市長** 簡易水道料金調整と合わせて検討すべく考えており、もう少し日数がかかります。

簡易水道料金調整と合わせて検討すべく考えており、もう少し日数がかかります。